

旅立ち―出会いと別れの物語



重要文化財 九淵龍賝題《万里橋図》 室町時代·応仁元年(1467)題 Landscape with Wanli Bridge

Inscription by Kyuen Ryuchin



重要美術品 陳賢《老子過関図》 明~清時代(17世紀) Laozi crossing the barrier By Chen Xian



長次郎《黒樂茶碗 紙屋黒》 桃山時代(16世紀) 神谷宗湛·鴻池宗知·川上不白所持 Tea bowl, black Raku ware, known as "Kamiya-guro" By Chojiro

理想郷へ―神仙世界と桃源郷



川端玉章《桃李園·独楽園図屏風》[桃李園図部分] 明治28年(1895)

※左右隻展示替えあり

Pair of Screen Paintings "Banquet at Peach and Plum Garden" and "View of Duleyuan (Garden of solitary enjoyment)" [detail] By Kawabata Gyokusho

> 《斜縁二神二獣鏡》 三国時代(3世紀) Mirror with design of two deities and



する最後の展覧会となります。静嘉堂は、明治25年(1892)岩﨑彌之助 の神田駿河台邸における文庫創設以来、同44年(1911)に高輪、そ して大正13年(1924)に現在の世田谷へ拠点を移し、昭和52 年(1977)より所蔵する美術品等の一般公開を行なってまいり ました。本展では「旅立ち」をテーマに、日本・東洋における旅

とそれに伴う出会いと別れ、そして旅立つ人びとが目指した理想の地の イメージを探ります。また現在静嘉堂が収蔵する名品の伝来にまつわる エピソードを紹介するとともに、静嘉堂130年のあゆみと美術館の30年を 振り返ります。

静嘉堂は令和4年(2022)、美術館展示ギャラリーを丸の内の明治生命館

(1934年竣工、重要文化財)内に移転します。本展は世田谷岡本で開催

静嘉堂所蔵の国宝7点すべてが集結!※前期展示の4

静嘉堂の名品に隠された逸話の数々!!

世田谷のギャラリーはこれが見納め!!!



因陀羅·楚石梵琦題《禅機図断簡 智常禅師図》元時代(14世紀)[前期] Segment of Zen paintings leading to enlightenment: Priest Zhichang By Yintuoluo with inscription by Chushi Fanqi



趙孟頫《与中峰明本尺牘》元時代(14世紀)[部分]【前期】



《倭漢朗詠抄 太田切》平安時代(11世紀)[部分]【前期】



伝 馬遠《風雨山水図》 南宋時代(13世紀)【前期】 Landscape in wind and rain



手掻包永《太刀 銘 包永》 鎌倉時代(13世紀) Tachi sword, signed Kanenaga By Tegai Kanenaga

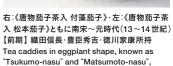


俵屋宗達《源氏物語関屋澪標図屏風》江戸時代·寬永8年(1631)[関屋図部分]【前期】 "Channel Markers" (Miotsukushi) and "The Barrier Gate" (Sekiya) of the Tale of Genji [detail] By Tawaraya Sotatsu

名品の旅路――伝来の物語



《古瀬戸茶入 銘 雨宿》 室町~桃山時代(16世紀) 小堀遠州所持·平瀬家伝来 named "Amayadori", Furu-seto ware



Karamono (Chinese) ware



《曜変天目》 南宋時代(12~13世紀) 徳川将軍家·稲葉家伝来 Tea bowl

旅する静嘉堂──静嘉堂のあゆんだ130年



《岩崎家深川別邸 注館》 明治22年(1889)竣工 Mansion of Iwasaki fami Fukagawa, Tokyo,



駿河台東紅梅町岩崎邸と三菱社屋 (『明治二十一年撮影 全東京展望写真帖」大塚巧藝社、昭和7年より The Surugadai Residence of Iwasaki family and Mitsubishi Main Office, Tokyo From "Album of Photographs of Tokyo Taken in 1889", Otsuka Kogeisha



関連イベント

0講演会

「出会い旅立ち別れの情──日中絵画の流れから──」

講師:河野元昭(静嘉堂文庫美術館館長)

日時: 4月24日(土) 午前11時~

会場: 当館地階講堂 参加無料(ただし当日の入館券が必要)

② 学芸員による列品解説 (スライド解説を予定)

4月22日(木)、5月13日(木):午前11時~ 4月17日(土)、5月29日(土):午後2時~

会場: 当館地階講堂 参加無料(ただし当日の入館券が必要)

❸コンサート「静嘉堂 いい日旅立ち」

演奏:元東京交響楽団員による弦楽四重奏

ハイドン、モーツアルト、ベートーヴェンの名曲から 日時:6月6日(日) 午後1時30分~午後2時30分

会場: 当館地階講堂

④静嘉堂文庫見学会

静嘉堂文庫は、桜井小太郎の設計によるイギリスの郊外住宅のスタイルを表 現した大正13年(1924)の建築です。通常は公開していない文庫の建物内部 (1階)をご案内します。あわせて所蔵する和漢古典籍の複製本をご覧いただ き、司書がその解説を行います。

- * ② ともに当日開館時より整理券配布 (1名様につき1枚限定)、整理券番号順にお入 りいただきます。
- *34の詳細は当館HPでお知らせします。

◎新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各イベントの予定を変更もしくは中止 する場合がございます。当館 HP・公式ツイッターにて最新情報をご確認ください。

アクセス

- 東急大井町線/田園都市線(地下鉄半蔵門線直通)「二子玉川」駅下車、駅前④バス 乗場から東急コーチバス「玉30・31・32系統」で「静嘉堂文庫」下車、徒歩5分。 または二子玉川駅からタクシーで約10分。
- ・小田急線「成城学園前」駅下車、南口バス乗場から二子玉川駅行きバスにて「吉沢」 下車、徒歩10分。
- 美術館前に約20台分の駐車場があります。美術館ご入館のお客様は無料でご利用 いただけます。

カーナビ案内



○カーナビをご利用の際は、

世田谷区岡本2-24-16 | とご入力ください。

静嘉堂文庫美術館 SEIKADO BUNKO ART MUSEUM

〒157-0076 東京都世田谷区岡本 2-23-1

② 050-5541-8600 (ハローダイヤル) http://www.seikado.or.jp



@seikadomuseum

河鍋暁斎《地獄極楽めぐり図》明治2~5年 (1869~72) [部分] Traveling through hell and paradise By Kawanabe Kyosai [detail]

◆静嘉堂とは

静嘉堂は、岩﨑彌之助(1851~1908 三菱第二代社長)が創設し、小 彌太(1879~1945 三菱第四代社長)が拡充したものです。「静嘉 堂」とは中国の古典『詩経』大雅、既酔編の「籩豆静嘉」から採った 彌之助の堂号で、祖先の霊前への供物が美しく整うとの意味です。 大正13年(1924)、小彌太は父の17回忌に際し、ジョサイア・コン ドル設計の納骨堂の側に現在の静嘉堂文庫を建てました。昭和20 年(1945)、小彌太の遺志により孝子夫人から美術品を、昭和50 年(1975)、夫人の逝去に際し、収蔵品の全てと鑑賞室等が岩崎 忠雄氏より寄贈され、2年後、美術品の一般公開を開始、平成4年 (1992)、創設100周年を記念し静嘉堂文庫美術館として開館しま した。国宝7点、重要文化財84点を含む、約20万冊の古典籍(漢籍 12万冊・和書8万冊)と6,500点の東洋古美術品を収蔵しています。







2022年、展示ギャラリーを丸の内に移転します

静嘉堂文庫美術館は開館30周年を迎える令和4年(2022)に、東京丸の 内の明治生命館1階に美術館の展示ギャラリーを移転します。明治生命館 は、昭和9年(1934)竣工。ネオルネサンス古典主義様式を採り入れ、昭和 の建築物では初めて国の重要文化財に指定されたもので、皇居お濠端の日 本を代表する歴史的建造物の中で静嘉堂の名品をご覧頂けるようになりま す。三菱一号館美術館とはワンブロックの距離です。なお、美術品の保管 管理・研究閲覧業務、並びに静嘉堂文庫(書庫)、敷地・庭園の管理業務は、 現在の地で継続致します。

